

まきりは

VOL.32 令和7年1月

私たちの理念

PURPOSE 社会的意義

Medical for Happiness

一人ひとりの幸せな人生を支えるために

PROMISE 私たちの約束

「Professional」
医療人としての誇りと謙虚さを持ち、日々研鑽を重ねます。

「Heart」
あたたかい想いやりの心とともに、あなたに寄り添います。

「Team」
和をもった信頼されるチームで、あなたを支えます。

contents

P1 新しい年を迎えて 院長 泰永 募

P2 大規模災害訓練を終えて

P3 牧の湯リニューアルオープン!

P4 作業療法室の紹介

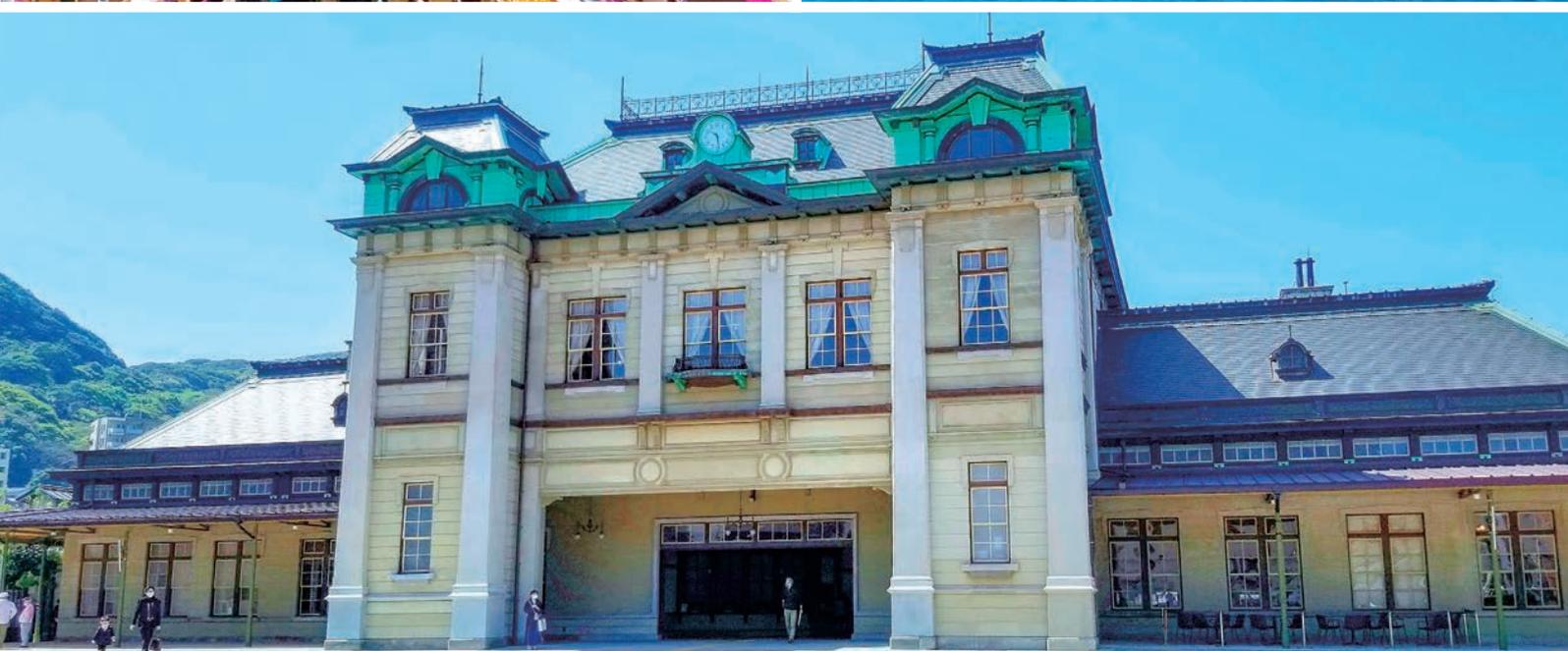
P5 訪問リハビリテーションダイアリー 一緒に目標に向かって試行錯誤した日々

P6 デイケア門真だより

ボランティア演奏会 ~懐かしい音楽に癒されました♪~

P6 「RUN伴+門真」 みんなでつなごう!門真の輪!!

P7 海外・国内の美しい風景
旅するドクター2



新しい年を迎えて

院長 泰永 募

皆様、あけましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、年始の能登半島地震・羽田航空機事故で、何とも多難な幕開けとなりました。一昨年と同様、猛暑が長く続き、農作物に影響し、物価も上昇しました。『闇バイト』による強盗襲撃事件が関東で多発しています。政治面では、裏金問題で自民党が衆議院選挙で大敗しました。また、アメリカ第1主義を唱えるトランプ氏が、大統領選挙で当選し、今後の世界情勢が読めず、日本政府は戦々恐々としています。残念ながら、ウクライナ問題も一向に解決していません。

もちろん、明るい話題もあります。パリ五輪での日本勢メダル獲得、特に北口榛花選手がやり投げで金メダルを獲得し、喜び満面で鐘を鳴らしていた映像が目に焼き付いています。また、ドジャースの大谷翔平選手の『50-50』は歴史的快挙でした。その記念ボールが6億6000万円で落札されたのも衝撃的です。話は変わりますが、一昨年より、さらにインバウンドが伸び、各地に外国人観光客が溢れ、大阪市内でも心斎橋筋商店街・天神橋筋商店街などでは、1/3ほどは海外の方ではないかと驚くほどです。インバウンドによる経済的効果が期待できます。

さて医療界としては、昨年の診療報酬・介護報酬の同時改定が大きなニュースでしょう。医療費

・介護費削減を狙いとしており、我々の現場とかけ離れたところで、話が決まったという感がぬくえません。介護に関して言えば、少子高齢化により介護の担い手不足が深刻化しており、外国人労働者の助けがなければ成り立たないです。当院でも、東南アジア出身の介護士達が日々奮闘し、患者さんからも好評を得ております。

さて、一昨年に新型コロナが5類に引き下げられました。当院でも様々な制限を緩めてきました。患者さんの面会に関しては、一日の件数を増やし、アクリル板の衝立を外し、患者さんご家族が、マスク着用とはいえ、Face to Faceでお話ししていただけるようにしています。そして、患者さんの病状回復を、実感していただけるように、リハビリ見学も再開しました。また、退院後の生活動作が安定するか確認するための『試験外泊』も始めています。これらの事は、多くの患者さんご家族に高く評価されています。

さらに、長期入院なればこそ、日々の食事も大切な要素です。新たな計画として、食器を含めての食事内容改善に取り組んでいます。

当院での入院が、患者さんだけでなく、ご家族にとってもご満足いただけるよう、引き続き努力してまいります。

どうぞ本年もよろしくお願い申し上げます。



後列左から 米村医師 釜瀬医師 根岸医局長 田村医師
前列左から 牧顧問 泰永院長 河野副院長



大規模災害訓練を終えて

牧リハビリテーション病院では、大規模災害訓練を年に一回以上行っています。

災害規模震度6強の地震発生を想定



災害対策本部の様子



今年度は10月25日に災害規模震度6強の地震、平日の昼間を想定した全部署が参加する訓練を実施しました。発災から1時間、2時間、3時間と三つのフェーズに分かれたシナリオを元に患者、職員の安否確認、負傷者の対応などを行う訓練です。

今回の訓練の目的の一つとして、災害対策本部の機能、被災状況の情報収集、指示伝達の充実化に取り組みました。各フロアの被災状況を記載できる情報集約シートを改善したことで、災害対策本部から具体的な対策方法を指示することが可能となりました。また、日常的に使用している院内の内線電話を使用せずに、各部署にメッセージャーを配置することで災害時に電気の供給が完全に停止した状態での情報伝達の訓練を行うことができました。

訓練終了後の反省会では、備蓄食や飲料水が患者、職員に十分に行き渡らないことや、勤務していない職員の安否状況や参集状況の確認が十分ではなかったこと、病棟にいない患者数と安否確認に時間を要したことなど、今後改善すべき点も多く見つかりました。

今回は訓練でしたが、実際の災害は予告なく、突然訪れます。準備をしても、多くの反省点があり、患者、職員の安全を守り、確保することが如何に大変なことか、改めて考え直す貴重な機会となりました。

今後は院内の災害対策委員会の機能を更に充実させ、院内全体の防災に対する意識を高めていきたいと思っております。

事務部長 白波瀬 一之(しらはせ かずゆき)



牧の湯リニューアルオープン!



看護部では「患者さんが心待ちにする入浴を!」という思いから、2014年から2か月に1回の「イベント浴」を実施しています。

「イベント浴」では、浴槽に香りの良い入浴剤を入れたり、浴室の出入り口に「まきの湯」の暖簾をかけたりして、いつもと違う雰囲気を楽しみ、ゆったりとした気持ちで入浴してもらえることを心掛けています。

患者さんからは「良い香り」「気持ちがいい」「温まる」「次も楽しみ」と評判は良好です。そしてこのたび、2024年9月から1か月に1回にリニューアルしました!

普段と違う入浴により患者さんが鼻歌を歌ったりコミュニケーションが弾んだり、楽しく過ごせる機会が増えたことでスタッフも心が満たされています。



イベント浴を通して患者さんが少しでも豊かな入院生活が送れるよう今後もスタッフ一同サポートしていこうと思います。

4階病棟看護師 岡林 恵(おかばやし めぐみ)

作業療法室の紹介

諦めずに目標に向かって一緒に取り組んでいきます



入浴シミュレーター

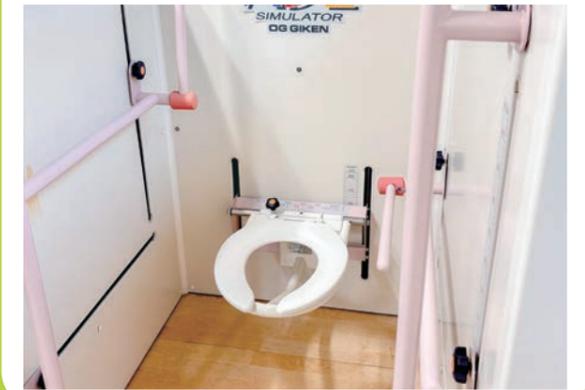
お風呂に入る練習をする設備です。手すりや床が可動式となっており、ご自宅の浴槽の高さに合わせて練習をすることが可能です。

体が動きにくくなっても入ることを諦めず、手すりの位置の検討や座って跨ぐ方法など一人一人にあった手段を提案させていただきます。



トイレシミュレーター

手すりや便座が可動式となっており、ご自宅の環境に合わせての練習や手すりの位置の検討などを行います。



キッチン

シンク、IHコンロが整備されており、実際に使用することができます。棚の中には食器や調理器具が入っており、キッチン周りの動きの練習を行っています。

また必要に応じて実際に調理訓練を行うこともあります。手が上手く使えなくても、ずっと立つのが辛くてもご自宅でできることを一緒に模索します。



和室

床からの立ち座りや洗濯・掃除など、ご自宅の環境に合わせた家事動作の練習を行うことができます。



一緒に目標に向かって 試行錯誤した日々

息子の引退試合くらいは見に行きたいな

3年前に後縦靭帯骨化症という難病を患い、四肢麻痺となったTさん。介入当初より「息子の野球の試合を見に行きたい」という希望を密かに想っておられました。しかし、退院して間もないこともあり、まずは家の生活を安全に送ることが最優先であったため、当時は「まだ無理やな…」と諦めていました。それから約2年が経ち、改めてTさんと目標について話したところ「息子の引退試合くらいは見に行きたいな」との発言が聞かれました。そこで何とかしてこの目標を叶えられないかと担当スタッフ、ケアマネジャー、本人、家族と一致団結し、目標達成に向けて介入することになりました。

まずは外歩きの手段を見直す事から始め、その当時は片手のみで杖を使用していましたが、それでは歩く際に躓きやふらつきが多かったため、短距離しか歩けませんでした。そのため、両手で杖を使えるようにもう1本杖を借りられないかケアマネジャーと相談し、新たに2本の杖で歩くことを導入しました。2本の杖を使いこなすには時間がかかりましたが、元々歩く際にみられた躓きやふらつきが段々と減少し、それに伴って歩く距離を伸ばしていく事が

できました。球場が決まってからはそこまでのルートを確認し、不安要素となる階段の有無や観客席までのルートはTさん自ら球場に問い合わせました。そこから引退試合までの期間は、実際の環境を想定して、様々な場所での外歩きや階段の練習などを行いました。その結果、「息子さんの引退試合を見に行く」という長年の目標を叶えられました!!!

試合を見に行った翌日のリハビリでは「暑かったけど行けて良かった!」と日焼けしたTさんは嬉しそうに話してくれました。また、3年ぶりの応援のかいあって息子さんもその日の試合に勝つことができたそうです。

引退試合までのリハビリ回数は決して多くはなかったですが、Tさんと一緒に目標に向かって試行錯誤した日々は今でも強く印象に残っています。

「やってみたいけどできるか不安…」や「前はできていたけど退院してからできるかな…」など思うことがあると思います。訪問リハビリではそういった利用者さんの不安を解消し、目標達成できるように一緒に取り組んでいきたいと思ひます。

理学療法士 池田 聖光(いけだ せいこう)

デイケア
門真だより

ボランティア演奏会

～懐かしい音楽に癒されました～

まだまだ気温も高く、秋の気配は遠く感じられるような日でしたが、約4年ぶりにボランティアの方による演奏会を開催することができました。サクソとギター奏者の青川たいせいさんにお越しいただき、昭和歌謡曲など馴染みのある音楽を楽しませていただきました。

若い頃から音楽に携わっている青川さんのサクソの音色は力強く、ギターはやさしく鳴り響きます。利用者さんからも「楽しかったわぁ」「きれいな音やったね」と感想をいただき、懐かしい歌や音楽を通して、心やすらぐひと時を過ごしていただくことができました。

支援相談員 宇田真弓(うだ まゆみ)



みんなでつなごう! 門真の輪!

10月27日(日)認知症になっても輝けるまちをめざす
イベント『RUN伴+門真2024』が開催されました。

(主催:ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会)



「もしかして雨かな?」と心配しましたが、天気予報はスタートが近づくにつれ回復を報せ、絶好のRUN伴日和となりました。

今年もデイケア門真からは3名のランナーがエントリー。伴走者にはランナーのお孫さんや奥さんをはじめ、牧り八からも看護師、相談員、理学療法士が参加。そして今年には社会人野球の名門である「パナソニック野球部」の選手が伴走してくれました。

お孫さんと話しながら、野球選手と話しながら、牧り八スタッフと話しながら。去年と同じコースを歩いても、一味違う“体験”が出来るイベントRUN伴+門真。

来年もより多くの方とこのような“体験”を共有できるよう、更に活動を広めていきたいと思ひました。

もし、興味があれば連絡くださいね!一緒にRUN伴しましょう!!

理学療法士 紙谷 拓樹(かみたに ひろき)

旅するドクター 2

今号の表紙: 下関、門司(関門海峡)

泰永院長が旅の途中で撮影した、海外・国内の美しい風景を紹介します。

今回は、関門海峡を紹介します。2022年2月、フグを食べるために下関を訪れました。

新幹線に乗り、新下関駅からレンタカーで唐戸市場に向かいました。

写真上段①: 唐戸市場の外にある岸壁散歩道から、関門橋を眺めています。関門橋は1078mの長さがあり、1973年の開通当時では、東洋一の長さを誇っていました。関門海峡には、関門橋以外に3本のトンネルがあり、本州と九州を結んでいます。3本のトンネルは、1942年に開通した関門鉄道トンネル、1958年に開通した関門トンネル(国道2号線)、1975年に開通した新関門トンネル(新幹線)です。訪れた日は、2月でしたが、天気も良く、観光客がベンチや芝生の上で、唐戸市場で買い求めたお寿司などを食べながら寛いでいました。当時はコロナ禍でもあり、市場は持ち帰り専門で、場内では食事のできる場所がなく、屋外で食事をさせていました。

写真中段左②は、唐戸市場内の光景です。刺身やお寿司を求めて、多くの人買い物をされています。私は雑踏を避けて、2階から様子伺いをしていました。コロナ禍のため、1列両サイドの店のみの営業でしたが、最盛期には市場全体が賑わっていたと思われま。

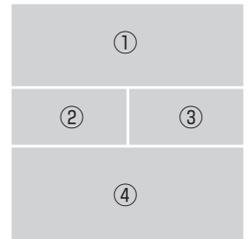
さて、翌日は九州に渡り、門司港レトロを訪れました。

写真中段右③は、右手前は旧門司税関、左奥は『ブルーウィングもじ』です。

旧門司税関は、1912年に建設され、国際貿易港の税関庁舎として、昭和初期まで使用されていたものです。1916年、門司港の外国貿易の出入港船舶数は横浜・神戸を抜いて、全国一と記録されています。戦時中に空襲で被害を受けましたが、観光復興のため、1995年に復元されました。赤煉瓦がとてもエレガントですね。『ブルーウィングもじ』は、国内最大級の歩行者専用のはね橋で、1993年に竣工しました。船が門司港に入るたびに橋が跳ね上がり、見ていて楽しいです。

写真下段④は、門司港駅ですが、1914年に開業し、1988年に鉄道駅舎として初めて国の重要文化財に指定されました。2019年に6年間かけた復元工事を終え、大正時代の姿へ整備され、グランドオープンしました。2階建てながらも、高さがあり(歩く人と比較するとよく分かります)、重厚さに圧倒されます。前述の関門鉄道トンネルが開業する1942年まで、九州の玄関口としての威厳を保っていたのでしょう。ネオルネサンス様式と呼ばれる左右対称の美しさに心奪われ、しばし見とれてしまいました。

以上、関門海峡を紹介しました。次号もお楽しみに!



アクセス

【電車の場合】
 ■大阪メトロ長堀鶴見緑地線「門真南駅」下車2番出口上がってすぐ。

【お車の場合】
 ■近畿自動車道をご利用の方は、北行き「大東鶴見」南行き「門真」出口を降りてください。
 ■第2京阪道路をご利用の方は、西行き「第2京阪門真」出口を降りてください。
 ■中央環状線(堺方面)からお越しの方は「ラクタブドーム」の看板が見えたら「茨田大宮1交差点」を右折し、セブンイレブンの角を左折後直進、1つ目の信号を左折し更に左折してください。
 ■中央環状線(守口・大日方面)からお越しの方は「ラクタブドーム」の看板が見えたら側道へ入り、1つ目の交差点「第2京阪側道へ」を左折後すぐ「三ツ島」より側道へ入り、1つ目の信号を右折(高架をくぐり)更に右折後直進してください。
 ■1号線(第2京阪側道)(枚方方面)からお越しの方は、北島東交差点後、「三ツ島」より側道へ入りそのまま直進してください。

病院敷地内に駐車場がありますが、少数のため空きが無い場合はラクタブドームのコインパーキングをご利用ください。



【お問い合わせ先】
 社会医療法人 **ONE FLAG**
牧リハビリテーション病院
 〒571-0015 門真市三ツ島3丁目6番34号
<https://www.maki-group.jp/makireha/>
TEL.072-887-0010